



サイクロン・パム被災支援金について

作成 2015年3月20日
バヌアツ共和国 親善大使 相川梨絵

支援協力団体（3月20日現在）

国際機関太平洋諸島センター（Pacific Islands Centre, PIC）

特定非営利活動法人日本バヌアツ親善協会（Japan Vanuatu Goodwill Society, JVGS）

支援概略

【目的】

2015年3月13日夜、バヌアツ共和国に上陸したサイクロン・パムによるポートビラの被災者の一日も早い日常生活への復帰を支援する。

【手段】

特定非営利活動法人日本バヌアツ親善協会が募金受付窓口となって民間支援を募り、現地へ送金する。現地では相川及び支援スタッフがこれら資金を活用し、被災者住居再建（トタン屋根購入、供与など）を支援する。

【補足説明】

現地側によると、各支援機関が水、食糧、医療等への支援を開始する中、被災者の住宅再建への取り組みは手がつけられていない。被災者たちの一刻も早い日常生活回復のためには住宅再建は急務であり、そうした分野に支援が及んでいることを広く知らしめることは、被災者たちに希望を与えるものと考えられる。こうした議論によって、現地側と協議の結果、本支援は特に被災者たちの住宅再建にターゲットを絞って実施する。

ただし、今後明らかになってくる現場被害状況の調査活動を通じて、さらに被災者のニーズを把握し、（公的機関との提携又は間接支援を含め）柔軟な支援も視野に入れる。

【報告】

引渡し式や家屋再建棟上式など、節目節目に相川のブログを通じて事業の進捗を報告する。また、事業終了後は特定非営利活動法人日本バヌアツ親善協会のホームページ上に会計報告とともに全体報告を掲載する。

支援体制

